

学校支援地域本部事業始動

玉中生に「読み聞かせ」

平成27年5月8日(金)

文責 校長 太田 恭司



今日は、お話の会「とわの木」の皆さんによる、本年度、初めての読み聞かせがありました。小学校では、一般的に行われている読み聞かせが、玉名中学校でも行われています。



今回は、九州看護福祉大学の学生さんもボランティアで参加してくださいました。対象学年は3年生です。どんな様子で聞いているのか見て回ると、いたって真剣に聞いています。さすがです。玉中の3年生。



読み聞かせのボランティアの皆さんの感想にも、「とても気持ちのよいクラスで楽しかったです。皆、まっすぐ見てくれて、オチで笑ってくれました。」「さすが3年生です。食い入るように聞いてくれたので、気持ちよく読めました。」など、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

読み聞かせの絵本は、学級によって様々です。「ええところ」くすのきしげのり 作、母の日が近いということで、「母親というものは」葉 祥明作、などです。



【ボランティア大募集】

読み聞かせの後、ボランティアの方々は笑顔いっぱいです。玉中生の反応に、きっと、心地よさを感じておられるのだと思います。一緒に、この心地よさを味わってみませんか。ボランティアはいつからでもOKです。玉名中にお電話ください。

